

私立大学図書館協会
2021年度 協会賞審査委員会（第2回）議事要録（公開用）

日 時： 2022年1月12日（水） 14:00 ～ 16:30

会 場： Web会議（Zoom）

委 員：木下 和彦（委員長・慶應義塾大学）、小澤 正和（日本大学）、倉持 勝（駒澤大学）、
鈴木 努（早稲田大学）、有川 浩（関西学院大学）、小野 未来子（福岡女学院大学）、
守田 正江（名古屋外国語大学・名古屋学芸大学）、森戸 智枝（広島修道大学）

陪 席：小嶋 哲、山口 由美子（会長校・西南学院大学）

議 題：

<報告・確認事項>

1. 前回議事録の確認 (資料1)
2. 2021年度事業計画の中間状況報告および2022年度事業計画報告 (資料2)
3. その他

<審議事項>

1. 2021年度協会賞審査について (資料3、資料4)
2. その他

<懇談事項>

1. 来年度の協会賞授賞式について
2. 今年度の協会賞運営についての振り返り
3. 2022年度の委員継続について
4. その他

配付資料：

資料1 2021年度協会賞審査委員会（第1回）議事要録

資料2 2021年度事業計画の中間状況報告および2022年度事業計画（第2回常任幹事会提出資料）

資料3 <非公開>

資料4 <非公開>

議 事：

<報告・確認>

1. 前回議事録の確認（資料1）

資料1に基づき、前回議事録を確認した。

2. 2021年度事業計画の中間状況報告および2022年度事業計画報告の確認（資料2）

委員長から、資料2を2021年度第2回常任幹事会（12/3開催）に提出した旨報告があり、その内容を確認した。

<審議>

1. 2021年度協会賞審査について（資料3、資料4）

<非公開>

<懇談>

1. 来年度の協会賞授賞式について

従来、協会賞授賞式は総会の中で行われてきたが、今年度は総会がメール会議となったため、例外的に研究大会の中で授賞式をおこなった。会長校から、来年度の協会賞授賞式について、総会は来年度もメール会議となるため、研究大会の中で授賞式を行う予定であるとの説明があった。なお、来年度の研究大会は会場とオンラインを併用するハイブリッド方式で行う予定であることが、あわせて説明された。

2. 今年度の協会賞運営についての振り返り

委員長から、今年度の協会賞運営、また委員会の開催方式などについて懇談したいとの提案があった。懇談の中で出された主な意見は以下の通りであった。

- 審査の時は、対面での会議の方が意見を言いやすいのでよい。
- 他大学の様子をうかがうなど、情報収集できることもあり、審査以外のメリットもあるので、対面で委員会を開催できるとありがたい。
- 最低でも2回委員会があるので、少なくとも1回は対面での実施がよい。
- 1年目の委員は審査の時にとっても戸惑うので、最初の委員会の時には前年度の審議内容の振り返りを行っていただけるとよい。
- 募集の底上げをどうやっていくかが課題。
- 自分の図書館の経験が浅いため、推薦に値する人を探すことが難しいところがある。
- 協会賞とは別に、違う評価軸でみんなが参加しやすいような形のものを設けてもよいのではないか。

3. 2022年度の委員継続について

来年度の委員継続について懇談し、現時点では全員が来年も委員を継続することが確認された。

以上